



題字—19年度入会 安藤好子(前 名古屋・野立小) 絵—19年度入会 長坂正延(前 岡崎・葵中)

目 次

就任挨拶	1
退任挨拶	1
県退職校長会総会報告	2
会務報告	2
役員名簿	2
全連退総会報告	3
現職校長会情報	3
生き生きライフ	4
計報	4

就任あいさつ

退職校長会の矜持



会長

加藤 善章

去る三月十四日、平成二十年
度総会におきまして会長と
いう大役を仰せつかりました。
もとより浅学非才の身でござ
います。副会長を始め常任理
事・理事の皆様のお力添えを
頂き、会の舵取りをしてまい
りたいと思います。

もちろん会の運営に当たり
ましては、岩間前会長が推進
されてきました路線を受け継
ぎ、会の発展のため、微力で
はございますが精一杯努力す
る所存でございます。どうか
会員の皆様のご支援とご協力
をお願い申し上げます。

さて、土橋全連退会長の計
報に接し、先生の「今日の社
会の乱れを直すには、教育以
外にないよ。」と、折に触れ
熱く説かれるお姿に想いを寄

せました。ここに哀悼の意を
表し、心よりご冥福をお祈り
します。

ところで、故土橋会長が永
年に亘り説き続けてこられた
熱い情熱の根源は、どこにあ
るのでしょうか。その答えは、
「退職校長会の矜持は何か」
を、突き詰めて考えれば自ず
と出てくると思います。私は、
「教師を志したときから新任
十年の間に、培われる教育愛
が核となってその矜持が形成
される。」と考えます。

退職校長会の皆様は、新卒
時代は失敗を重ねながらも、
授業実践に取り組み、教育哲
学を叩き込まれ、授業研究に

退任あいさつ

感謝あるのみ

前会長

岩間 敏和



愛知県、東海北陸、全国の
課題等を副会長、理事、そし
て関係される皆様のご支援、

没頭した日々を過ごされたこ
とでしょう。また、部活動の
指導や生徒指導で昼夜を問わ
ぬ厳しい勤務の日々を送られ
たことと思います。そして、
この時代に一期一会の縁によ
り将来師と仰ぐ先生や書物に
出会い、人として、教師とし
ての識見、胆力を身に付け、
「確乎不拔の志」を打ち立て
られたことと思います。

この「確乎不拔の志」こそ
「退職校長会の矜持」である
と考えます。そしてまた、退
職校長としての品格も、揺る
ぎない信念と慈愛にも似た教
育愛も、この「確乎不拔の志」
から生まれるものと考えます。

ご協力により、すべてすばら
しい結果で終えることができ
ました。特に事務局の皆様は
は大変お世話になりました。
心よりお礼申し上げます。

退職後十一年退職校長会の
一員として活動させていた
きました。特に最後の二年は
東海北陸地区の会長を引き受
け全国の副会長として活躍の
場を与えていただきました。

東海北陸の規約がありません
でしたので、それを立ち上げ
させていただきました新に制定を

この志を高く掲げ、気品の
ある活動を推進してまいりた
いと存じます。先ずは、本会
の象徴であります広報の一新
です。題字やその背景の図案
を昨年三月に退職された先生
にお願いし、親しみを持って
読んでいただける紙面つくり
に努めます。次に、活性化小
委員会の拡大充実を図ってま
いります。そして、「教育の
日」制定は、県教委や関係諸
団体に働きかけ、その一歩が
踏み出せないかと考えていま
す。

この一年格別お世話になり
ます。何卒よろしく願いを
申し上げます。ご挨拶とします。

いたしました。そして多くの
課題を検討し、東海北陸の意
見として全国の副会長会で紹
介させていただきました。愛
知の声を全国に広めさせてい
ただいたのはもちろんのこと
であります。愛知では試行と
して小委員会を設置していた
だき会報のあり方について検
討いただきました。次年度か
らは、カラー刷りで読み易く
内容も多く充実したものとし
て発行されるものとして期待
しております。

平成二〇年度

県退職校長会 総会報告

本年度の総会が、去る三月十五日に名古屋ガーデンパレスで、正副会長始め、各支部長等三十七名出席のもとに開催されました。

議事では、次のことについて審議され、可決承認されました。

○平成十九年度 会務報告・会計決算報告・監査報告
○平成二十年 事業計画・予算案

○平成二十年 役員の承認
役員では、十八、十九年度と二年間として尽力いただいた岩間敏和様が勇退され、新会長に加藤善章様が選任されました。また各役員は、下記一覧の通り決定されました。そして、旧役員を代表して、岩間前会長からお礼と今後の発展を願うあいさつが、また新役員を代表して、加藤会長から会の活発化に全力で取り組むとの力強いあいさつがあり、総会が無事終了しました。

平成19年度 会務報告

○平成十九年度総会・懇親会
名古屋ガーデンパレス
三月十五日(木)

○新入会員名簿作成
四月
○県会報十六号、全連退会報
一・三月号発送(十五・十六・十七・十八・十九年度
五月
○第一回活性化小委員会
校長会事務局
五月三十一日(木)

○全連退第一回理事会
東京
六月五日(火)
○全連退総会
東京
六月六日(水)

岩間会長・古橋副会長・青木副会長・濱田副会長
○第一回正副会長・常任理事会
校長会事務局
六月十四日(木)

講話 県退職教職員互助会 服部皓二氏
○第二回正副会長・常任理事会・役員会
校長会事務局
八月二日(木)

講話 愛知県教育委員会義務教育課長 松永裕和氏
○第二回活性化小委員会
校長会事務局
八月二十八日(火)

○全連退副会長会
十月一日(月)
○全連退第二回理事会
十月二日(火)
○東海北陸地区協議会
石川県 十月四日(木)～五日(金)
森川副会長
○県会報十七号、全連退六・九月号発送(十五・十六・十七・十八・十九年度会員)
十一月
○第三回活性化小委員会
校長会事務局
十一月八日(木)

○県小中学校長会地代会で入会依頼
十一月二十九日(木)
岩間会長・中川常任理事
○県小中学校長会理事会で入会依頼
十二月五日(火)
事務局長が代理で依頼
○第三回正副会長・常任理事会
校長会事務局
十二月十二日(水)

○平成二〇年度役員選考委員会
一月十一日(金)
岩間委員長、青木・濱田副会長、常任委員二名
○平成二〇年度入会手続き開始
一月
○第四回正副会長・常任理事会
校長会事務局
三月四日(火)

○会計監査会
校長会事務局
三月四日(火)

人に接して
寛容であれ

接人 寛容

平成19年度入会
水谷 龍男
(前 津島・南小)

この四字熟語は、書を生涯の趣味としてたしなんでいた父が、よく口にし、色紙にしたためていた言葉である。教職に携わった私は、この言葉を父の教えと心得て、常に肝に命じて教育実践してきたつもりである。しかし、実行するのは難しく、反省する毎日であったような気がする。

平成二〇年度 愛知県退職校長会 役員名簿

会長(尾張)	加藤 善章	理事(尾張)	加藤 學
副会長(三河)	古橋 睦典	理事(尾張)	榊原 和代
(尾張)	野田 正美	(名古屋)	山田 政宏
(名古屋)	濱田 健	(名古屋)	稲垣 直子
(名古屋)	森川 肇	(名古屋)	名倉 治男
(名古屋)	大橋 隆行	(名古屋)	小坂 愛祐
(尾張)	吉田 和夫	(三河)	加藤 正躬
(尾張)	川本 健仔	(尾張)	青木 宏氏
(名古屋)	山田 将文	(名古屋)	鳥居 久男
(名古屋)	安藤 公明	(名古屋)	森 昭二
(名古屋)	中川 正明	(三河)	山本 隼彦
(名古屋)	廣瀬 一巳	(尾張)	中神 時彦
(尾張)	吉田 和代	(尾張)	石井 悦雄
(尾張)	夏目 忠士	(名古屋)	恒川 武久
(尾張)	柴田規矩司	(名古屋)	小竹 佑一
(尾張)	内藤 俊巳	(名古屋)	山本 正雄
(尾張)	大久保慎一	(三河)	福應 謙一
(尾張)	大野 雅夫	(尾張)	加古 勝博
(尾張)	竹内 修	(名古屋)	大橋 勝
(尾張)	加賀 昭一		

平成二〇年度
全連退総会報告副会長
濱田 健

平成二〇年度第四十四回全国連合退職校長会総会が、去る六月五日（木）、東京・両国の「江戸東京博物館ホール」で盛大に開催された。

愛知県からは、前県会長の岩間敏和先生、県会長の加藤善章先生、副会長の古橋睦典先生、森川肇先生、それに私の五名が参加した。今年の総会は、六月一日に急逝された土橋莊司第十一代全連退会長の遺影が会場を見守る中、会長はじめ本年中に亡くなられた方々のご冥福を祈って、全員起立の黙祷で始まった。土橋会長が、生前、この総会にかける思いを書き記したメッ



感謝状を受ける岩間前県会長



セージが全連退・戸張総務部長によって代読され、改めて会長の熱い思いと偉大さを痛感し

た。続いて、渡海文科大臣代理の吉川視学官より、「教育基本法が改正され、それに伴い学習指導要領も大幅に改訂された。その趣旨と内容をしっかりと受け止めた教育実践が、全国で展開されることを願う。」と来賓祝辞があった。

議事に入り、平成十九年度の会務報告・決算報告、二十年度の事業計画・予算・宣言が全会一致で可決された。役員承認に移り、土橋会長の後任に全連退役員の広瀬久新会長が承認された。

感謝状・記念品の贈呈があり、前県会長の岩間敏和全連退副会長が受賞者を代表し、温かい拍手の中受賞された。

午後は、兵庫教育大学学長・文学博士 梶田毅一先生の「新しい学習指導要領の理念と課題」と題した講演を拝聴した。「何十年に一回の変遷、

今までの教育はあまりにも奇麗ごとがはやり過ぎ、教育の本質である青い鳥は、日本以外にいるということで、それを外国に求めてきた。しかし、よく見つめてみると日本の中に青い鳥はいた。」と述べられ、新しい学習指導要領の改訂の根拠は、足元を見る教育であり、もう一度日本の教育の良い面を復活させるのが重要であると力説された。

最後に、会員に向かって、現役を終わっても余生ではなく、今のステージを生きていく心構えが大事。自分で自分を活性化させることの大切さを強く訴えられた。確かな教育理念に基づいた軸のぶれない筋の通った講演で、時の経つのも忘れ拝聴できた。

今までの教育はあまりにも奇麗ごとがはやり過ぎ、教育の本質である青い鳥は、日本以外にいるということで、それを外国に求めてきた。しかし、よく見つめてみると日本の中に青い鳥はいた。」と述べられ、新しい学習指導要領の改訂の根拠は、足元を見る教育であり、もう一度日本の教育の良い面を復活させるのが重要であると力説された。

平成20年度 愛知県退職校長会 入会状況
(15年度～20年度会員数)

年度 地域	15	16	17	18	19	20	計
三 河	83	91	93	63	98	110	538
尾 張	68	93	85	72	72	68	458
名古屋	41	65	81	58	66	83	394
合 計	192	249	259	193	236	261	1390

現職校長会情報

平成二〇年度総会が、五月十四日（水）、つるまいプラザ（県勤労会館）で開催され、新しい役員・理事には、次の各氏が選出されました。

平成二〇年度

愛知県小中学校長会

役員・委員

●会長

刈谷 太田 武司（小高原小）

●副会長（5名）

稲沢 江本 隆（小正小）

瑞穂 松山 基紀（汐路中）

中 一宮 登（名城小）

豊田 柴田 育郎（下山中）

小牧 安東 要（岩崎中）

●監査（3名）

豊橋 竹本 陽子（旭小）

稲沢 大島 弘己（治郎丸中）

千種 福井 静子（千石小）

○庶務理事（6名）

豊田 榊岡 譲（前山小）

幡豆 尾崎 智（一色中）

一宮 伊串 博（神山小）

瀬戸 岡田 康夫（水野中）

瑞穂 坂本 憲昭（陽明小）

西 二宮 英二（菊井中）

○会計理事（6名）

北設楽 鈴木 修（田口小）

岡崎 鈴木 栄二（美川中）

小牧 佐藤 耕一（篠岡小）

知多 恒川 涉（東浦中）

昭和 坂野 重法（鶴舞小）

中村 小田原晴夫（豊国中）

●専門委員会・部会理事（15名）

法制 藤澤 雅夫（東山小）

理財 有賀 保英（北山中）

給与 齊藤 孝法（師勝中）

文教 湯浅 勉（葉栗中）

進路 加賀 金成（甚目寺中）

研修 木下 由正（葵小）

保健体育 神崎 恭紀（朝日丘中）

福祉安全 林 正美（西部中）

給食 杉浦 一郎（東山中）

生徒指導 松本 時寛（青海中）

特別支援 高木ふみ江（菊住小）

広報 鷹見 喜仲（梅坪小）

修学旅行 山中 裕二（高橋中）

教育課題 神本 政雄（安城南部小）

組織検討 伊藤 昭三（蟹江小）



副会長 古橋睦典「寒雀」

生き生きライフ —旧街道歩きで学校支援—

19年度入会

加藤 正 躬

(前 名古屋・丸の内中)



在職中、自分のかつての趣味のひとつに旧街道歩きがあった。旧東海道とか旧中山道とか伊勢街道とかを休日に歩き宿場風情や松並木とか一里塚などを見ては楽しんでいた。最初は近場だったが、そのうち次第に足を伸ばし、早朝の新幹線で新富士、あるいは小田原まで出かけ、そこから三〇四宿、距離にして一日二〇キロくらい歩いた。

そんなある時、確か土曜日だったと思うが、旧中山道の御嵩宿から伏見宿への途中、目印にしていた和泉式部の歌碑が見つからず困っていたとき、部活帰りの中学生がたまに通りかかったので尋ねてみたら、その子は遠回りまでして自転車を書いて道案内をしてくれ、目標の歌碑を経て伏見宿、太田宿までたどり着くことが出来た。今から八、九年前のこと、まだ、不審者も少なかったせい、警戒されることなく親切な中学生に出会い、さわやかな気分になった一日であった。道すがら話している内、その子は御嵩町立上郷中学校のYくんとなつたので、翌々日の月曜日の朝、上郷中学校に連絡を取り、校長先生に、自分が教員であることは伏せて、一昨日の顚末を話し、全校集会などどこかで生徒たちに紹介し誉めていただくようお願いした。校長先生はYくんが実在しており、この話を聞いてさっそく生徒に話

しますと、とっても喜んでくれた。こんなちょっとしたことで学校を、校長先生を応援できるならばと、その後、機会があれば中学生に声をかけ、喜んでいただいた学校は、袋井中、雲出中、和田中など十数校におよんだ。今もメタボ対策で、努めて歩くようにしているが、写真とともに趣味として、旧街道歩きと学校支援を復活させようと思っている。



着飾った奈良井の宿

訃報

(一) 内は逝去された日

滝 俊行先生 (十九・四・九)

前 名古屋市立児玉小

加藤正宏先生 (十九・七・四)

前 瀬戸市立水野中

榊原 勝先生 (十九・十一・七)

前 知多市立新田小

内藤幸夫先生 (二〇・四・三)

前 名古屋市立楠西小

神尾心一先生 (二〇・六・二七)

前 岡崎市立広幡小

ご逝去されました先生方のご冥福をお祈りいたします。なお、この先生方へは、本会より弔電にて弔意を表させていただきます。

事務局報告

平成二〇年七月一日より、前事務局長中尾洋一に代わって、新事務局長に板倉満生が就任し、新しく事務局次長に大久保慎一が入って、新しいスタッフでスタートしました。スタッフ一同、さわやかな対応を心がけてがんばりますので、よろしく願います。スタッフ紹介

○事務局 局長 板倉 満生

○事務局 次長 小出 英一

○事務局 次長 大久保 慎一

○事務局 員 加藤 美津代

あとがき

平成十九年度発足の組織活性化小委員会の検討事項の一つに「広報の改善」があげられ、今までのB5サイズ裏表二ページだったものを、A4サイズで四ページにし、カラー化することになりました。編集・割付け等を工夫してやっと新規格の広報が完成しました。お手元へお届けするのが遅くなって申し訳ありませんでした。

なお、題字とバックの絵をお願いした安藤好子先生と長坂正延先生始め、貴重な原稿をいただきました会員の皆様には、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。



愛知県退職校長会事務局

名古屋市中区新栄一丁目

四九の一〇

愛知県教育会館六階

愛知県小中学校長会事務局内

電 〇五二一六二一八二五二

FAX 〇五二一六二一六八〇七